

編集後記

●「市の相談所はタダだし行きやすいから、ありがたみがなくて…」と話す人がいました。聞き手の存在や時間、空間、労力、お金などが、自分を変えるエネルギーの対価となると考えるのでしょうか。心や行動を変えるにはエネルギーが必要だということかもしれません。学校では子どもたちが気軽に相談できることが大切ですが、頻回な相談の場合、1回1回を「価値あるもの」にする工夫が必要になってきそうです。(き)

●担任や教科担任以外の大人が、教室の中に入ることが増えてきました。TTでの授業で他の教員が入ったり、特別支援教育支援員などのいわゆる“支援員さん”が入ったりします。特集2を読んでみると、担任と支援員が、短時間でいいので「情報交換する時間を確保」することの重要性が伝わってきます。慌ただしい日常の中で、そのような時間をどう確保し定例化するか、知恵の絞りどころのようです。(こ)

次号のお知らせ

特集1 グレーゾーンの子を支える「さりげない支援」

● 困りごとを抱えながらも、合理的配慮や個別指導のような「はっきりとわかる支援」からこぼれ落ちてしまう子がいます。そのような子の学習や生活を支えている「さりげない」支援について考えます。

特集2 なかなか会えない不登校の子への支援

● 「なかなか会えない不登校の子」への支援は、教員にとって難しいケースのように感じます。月や学期に一度しか会えないような子との関係づくりに焦点を当て、対応の工夫やヒントを紹介します。



月刊学校教育相談

2023年 令和5年 11月号

定価 880円 (本体 800円)

2023年11月1日発行

●発行所

ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <https://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所

●発行人 小林敏史


●印刷所 研友社印刷(株)

ほんの森掲示板



- 朝日新聞「宮田珠己の気になる雑誌を読んでみた」に『月刊学校教育相談』が紹介されました。本誌の編集方針を読み解いている記事ですので、朝日新聞と宮田氏の許可のもと、49ページに転載させていただきました。
- 教育の営みは人と人との関係の上になり立つもので、変数が無数にあります。「こうやればいい」と明快に示すことはなかなかできません。それでも「かなりいい方法」はたくさんあります。本誌では、それらの方法を「同じ学校現場で悩み、こんなふうに考え、こんなふう実践してみたんだけど、どうだろうか」とそっと差し出す感じで読者にお届けできたらと考えています。

● 本誌の2023年4月号からの1年間の誌代は13,200円(税込 増刊号2冊を含みます)。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

●  **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている ☆詳しくは奥付を! 資料のファイル(ワード・パワポ・PDFなど)を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索